

愛称通りを歩く⑤

おおもん 大門通り



現在の東陽一丁目には明治21年から昭和33年まで、70年間続いた洲崎遊廓がありました。東京湾の埋立で造られた洲崎は川で囲まれ、洲崎橋のたもとに大門がありました。洲崎の大門から吉原の大門に通じる道ともいわれ、昔から大門通りと呼ばれていたそうです。

この歴史を引き継いだ「大門通り」は三ツ目通りと四ツ目通りのちようど中間に位置し、東陽一丁目から住吉一丁目の新大橋通りまでをいいます。

永代通りとこの通りに広がるのが東陽商店街。「毎月第一金・土曜



▲わくわく市を開催している東陽商店街

日々に「わくわく市」を開催して地域の活性化をはかっています。昔は賑やかな商店街でしたよ」とは

会長の幸阪貞吉さん。江東区商店街連合会の会長も務めています。また、今年には江戸三大祭りのひとつといわれる深川八幡祭りの本祭りにあたる年です。8月18日(日)には町内神輿54基が勢揃いし、中央区にまたがる氏子町内約8キロのコースを渡御します。

大門通りを渡御するのは朝の8時ごろです。商店街の沿道からは盛んに水がかけられ一段と盛り上がりします。通りに面する各町内の神酒所や御飯屋もすでにしつらえ、3年に一度の本祭りを迎えようとしています。

